

2026 年度核データ研究会のプログラム案 (2026/8/21 版)

12/10 (木)

○開会 (13:30-13:40)

- 「ミュオン科学の新展開」(13:40-15:50, 40 + 30x3, 2h10m) : 座長・大津秀暁 (理研)
- ・ 13:40-14:20 : 学術変革領域研究(A) 「負ミュオン科学の新地平 : 物質・宇宙・人類をつなぐ知の融合」について、下村浩一郎(KEK)
 - ・ 14:20-14:50 : ミュオンと不安定核物理、高峰愛子(東京科学大学)
 - ・ 14:50-15:20 : 宇宙線ミュオン起因の半導体ソフトエラー、橋本昌宜(京都大学)
 - ・ 15:20-15:50 : ミュオン活用による文化財研究、杳名貴彦(国立科学博物館)

○ポスターセッション (16:00~18:00)

12/11 (金)

- 「軽水中水素の熱中性子散乱データの評価・応用の展開」(9:00-10:25, 10 + 25x3, 1h25m) : 座長・千葉豪 (北大)
- ・ 9:00-9:10 : 熱中性子散乱を取り巻く状況 (千葉豪 (北大))
 - ・ 9:10-9:35 : JENDL プロジェクトにおける軽水中水素の熱中性子散乱則評価、中山梓介 (JAEA)
 - ・ 9:35-10:00 : 水分子中 H-1 の原子炉設計の精度向上のための非核分裂増倍系実験データの活用、遠藤知弘 (名大)
 - ・ 10:00-10:25 : 分光型中性子イメージングにおける軽水分子ダイナミクス解析法の開発、佐藤博隆 (北大)
- 「核セキュリティ・非破壊検査の進展と核データ研究」(10:35-12:15, 25x4, 1h40m) : 座長・岩本修 (JAEA)
- ・ 10:35-11:00 : 核不拡散・核セキュリティ研究と核データ、相楽洋 (東京科学大)
 - ・ 11:00-11:25 : JAEA における核不拡散・核セキュリティ技術開発、小泉光生 (JAEA)
 - ・ 11:25-11:50 : X-Band 電子線加速器を用いた光核分裂反応の遅発中性子に基づく核物質検知手法、木村礼 (東芝)
 - ・ 11:50-12:15 : 核分裂収率の評価、湊太志 (九大)
- 「特別講演」(13:30-15:00) : 座長・岩本信之 (JAEA)
- ・ 13:30-14:30 : 調整中
 - ・ 14:30-15:00 : クーロン障壁以下における α 粒子誘起反応断面積測定への二次中性子の影

響、藤居大和（阪大・核データ部会奨励賞受賞）

○セッション「放射線医療の高度化へ向けた研究開発と核データ」（15:10-16:25, 25x3, 1h15m）：座長・合川正幸（北大）

・ 15:10-15:35：陽子線治療を核とした医理工連携教育・研究 ―北海道大学における取り組み―、高尾聖心（北大）

・ 15:35-16:00：陽子線治療における核反応を利用したイメージング、西尾禎治（阪大）

・ 16:00-16:25：インクジェットプリント標的を用いた $^{226}\text{Ra}(p,2n)^{225}\text{Ac}$ 反応断面積の測定、南部明弘（北大）

○閉会（16:40-17:00）